

第1回北海道T P P問題連絡会議開催状況（未定稿）

日 時 平成24年1月18日（水）

13：30～14：30

場 所 赤れんが庁舎 2階2号会議室

【開 会】

（政策審議局 簗局長）

- ・ これから、北海道T P P問題連絡会議を開催します。まず、主催者を代表しまして北海道総合政策部次長の瀬戸から挨拶申し上げます。

（総合政策部 瀬戸次長）

- ・ 別添挨拶要旨により瀬戸次長から挨拶

【議 題】

〔議題（1）北海道T P P問題連絡会議の設置の趣旨について〕

（政策審議局 簗局長）

- ・ それでは次第に沿って、「議題（1）北海道T P P問題連絡会議の設置の趣旨について」梶田参事より説明します。

（政策審議局 梶田参事）

- ・ 配布資料により梶田参事から説明。
- ・ 条文3の（2）を「関係団体による協議に基づく国等への要請に関すること」に訂正する旨説明。

（政策審議局 簗局長）

- ・ 今の3の（2）のところで、「関係団体による協議に基づく国等への要請に関すること」ですが、これは事務ベースでの集まりですので、要請となりますと団体のトップの名前で要請をしていかなければならないため、それぞれの情報の内容に対して関係団体というのも異なってくると思います。
- ・ どういう形で、どういうメンバーでのトップで要請をするかとかそういう調整を行なうという意味での要請に関することということです。
- ・ また、オール北海道で行動をしなければならない場合は、実行委員会を設けて行ないますので、その都度、必要な形式で皆さんにご相談した上で、オール北海道での行動を考えていきたいと思います。
- ・ この連絡会議自体は、国等への要請に関することについてご相談、調整させていく場として、よろしくお願ひしたいと思います。
- ・ この件について、ご意見、ご質問がありましたらお願ひしたいと思います。

< 意見・質問なし >

（政策審議局 簗局長）

- ・ それでは、設置要領を今訂正した案のとおりとして、この会議を設置しまして、取り組みを進めていくということでよろしくお願ひしたいと思います。

[議題（２）ＴＰＰ協定の分野別の影響、（３）内閣府からの情報について]

（政策審議局 藪局長）

- ・ 次に、議題（２）ＴＰＰ協定の分野別の影響について、（３）内閣府からの情報について二つ合せて梶田参事から説明させていただきます。

（政策審議局 梶田参事）

- ・ 配付資料により説明。

（政策審議局 藪局長）

- ・ この件に関しまして、ご意見、ご質問はございませんか。

（北海道商工会連合会 木村事務局次長）

- ・ 16日の国の説明会には、全都道府県が出席されたのですか。

（政策審議局 梶田参事）

- ・ はい、全都道府県です。

（北海道商工会連合会 木村事務局次長）

- ・ 都道府県では、賛成と明確にしているのは少なく、大多数は慎重意見だと思えますので、会場では必ずしも政府に好意的ではなかったんだらうなと思いますが、国はそれを受けて慎重に判断するというようなことだったのか、そのあたり各県どのような雰囲気だったのですか。

（政策審議局 梶田参事）

- ・ 北海道は先ほど申し上げたスタンスでありますし、農業県からはやはり厳しい意見もありましたが、時間の関係ですべての県が質問できたわけではありませんでした。
- ・ いくつかの県が今回の資料の中身の確認やこれからの国の対応を質問したという状況です。そういう意味では、各県でもこれからの国の対応を注目されていますので、会議だけでなく、様々な連絡方法で、国からの情報収集が必要と思えますし、それから、国からの説明の中でこれからどうするのかというところについて、資料に基づく情報の共有化を若干させていただいたというところです。

（政策審議局 藪局長）

- ・ それから、全国知事会として、ＴＰＰに関する質問状を細かな者も含めて送っているのですが、国としては体制が整わないなどの理由で回答をもらっていないので、それを是非とも返していただきたいということを申し入れをしているところです。
- ・ 他県につきましては山梨県など工業県でいくつか賛成しているところもありますし、新潟県などはコメさえ守れば良いという考え方もあります。しかし、農業を主な産業としているところの大半、ほとんどのところが全然情報がないことについては非常に問題で、その情報を踏まえて考えていきたいというところが多いです。
- ・ 他に質問等はございますでしょうか。

< 意見・質問なし >

(政策審議局 藪局長)

- ・ 他になければ、次回の連絡会議を来月に開きまして、国が説明をしますと言っていますので、それぞれの団体でご懸念されている事項に関して、実際に国に説明を求めることを検討しては思うのですが、これについてはどうでしょうか。
- ・ 国としては、2月から3月ということですので、1ヶ月程度、来月の中頃で、皆さんのご賛同が得られるのであれば、国の方から職員の派遣をしてもらおうかと考えているのですが、いかがでしょうか。
- ・ 特にご異論がなければ、次回に、それぞれの団体に関係する事項について、今、実際にどのような交渉になっていて、どういったことが想定されるのか、そのようなことを細かに聞く場を準備させていただくということによろしいでしょうか。

< 異議なし >

(政策審議局 藪局長)

- ・ それでは、次回の連絡会議に内閣府から職員を呼んで質疑等を行なうこととさせていただきます。
- ・ 開催の時期につきましては、来月の中頃ということで、内閣府と交渉させていただきます。日時に関しましては、国との交渉が調った中で連絡させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- ・ それから国の今後の日程につきまして、説明いたします。

(政策審議局 梶田参事)

- ・ 国の方から、今後、どのようなスケジュール感をもって進めていくのかということですが、あくまで聞き取りベースですが、ベトナムやブルネイなど2国間の事前協議が始まったばかりで、その他の国々についてどのように進めるかは相手国次第ということで、目処は立ってございませんが、そのあたりをなるべく早くやりたいと、キックオフは早くやりたいと言うような物の言い方でした。
- ・ それから、都道府県の説明会への職員の派遣につきましては、年度内に出来たら一巡したいと考えているようです。ただ、年度を超したからやらないということではなく、そこら辺は調整が必要となります。国内への説明・情報提供も進めつつ、一方で、事前協議で他国は何を求めているかということについて、相手国と早く事前協議を行ないたいということでした。
- ・ しかし、交渉の是非、参加の是非につきましては今のところ目処は立ってはいないのではないかと考えています。

(政策審議局 藪局長)

- ・ いつ頃参加の是非を判断するのかと国に聞いたところ、今の関係団体との交渉の状況をみてからとしか言えないので、その交渉ということが目処が付く時期がまだ明確ではないので、いつ頃参加の是非を判断することに関しては、私どももわからないというような返事をいただいたところです。

【意見交換】

(政策審議局 藪局長)

- ・ これから意見交換ということで、皆様方の団体でお持ちの情報やそれから現在の取り組み、それから全国組織での動き、更には、最近の世論に関する感想などでもよろしいので、何かご意見があればご発言をいただきたいと思います。

【北海道漁業協同組合連合会のスタンスについて】

(北海道漁業協同組合連合会 齊藤主任)

- ・ まず、現在の考え方について、簡単にご報告させていただきたいと思います。
- ・ 水産物についてはもう既に関税が平均で4%に下がっていることもあり、既に漁業経営というのは、魚価安や昨今の燃油高騰でかなり厳しい状況になっており、これ以上自由化の波にさらされるとというのは大変厳しいということで、北海道の漁業それから漁村の崩壊につながるため、引き続きTPPについては断固反対ということで、取り組んで参りたいと思います。
- ・ その考え方については、参考資料として1枚添付しております。野田首相が関係国との協議に入ると表明した際の本会の抗議のコメント、それから全漁連でTPPに関する反対集会を開催しておりますので、その際の決議の内容を見ていただければ団体のスタンスが見て取れるという思いで資料を添付させていただいています。
- ・ それから、私どもの具体的な取り組みとしては、昨年11月14日に漁協の組合長などを集めて、TPPに関する勉強会を開催したり、今言ったような、私たちの上部組織である全国団体である全漁連と連携して全国集会を開催などといったことを現在取り組んでいます。
- ・ 今後については関係団体、それから道と連携を取った上で、要請や集会の開催について取り組んでいきたいと考えています。

【内閣官房からの説明について】

(北海道農民連盟 西参与)

- ・ 先ほど2月中旬に内閣官房から職員を招くというお話がありましたが、これの開き方なんですけれども、これは連絡会議、ここのメンバーの中によぶという考え方なのか、それとも連絡会議が主催して、もう少し大人数で開催するというものなのでしょうか。

(政策審議局 藪局長)

- ・ 連絡会議の場に呼ぶことを考えていたのですが、もし、ご要望があれば調整させていただいて、大きな会場で、関係者集めてということもあります。ただし、(国から説明する機会の)メニューは2つあって、シンポジウムへの参加というのが大きな会場で大勢集めて行なうもの、それとは別に、関係団体や議会など、まさに、影響に関することを聞きたい方々に職員を派遣することも考えているという話であったので、先ほど提案させていただいたのが、このメンバーの連絡会議に呼んで行なうというものです。それとは逆に、シンポジウムは札幌で1回ではなくて、地方紙もいろいろありますので、そういうところと連携すればいろいろできると考えています。

(北海道農民連盟 西参与)

- ・ 連絡会のこのメンバーでやるということも大事なと思いますが、せっかくの機会でありますので、2月の連絡会での開催の場合でも各団体1名というのではなく、少し多めに呼び掛けたり、他の関係する団体で興味がある方なども若干呼びかけるなど、工夫をした方が良いのではないかと考えていますので、ご配慮をお願いします。

(政策審議局 藪局長)

- ・ わかりました。このメンバーはもちろんですけれども、ほかにも広く呼び掛けた上で開催することで考えていきたいと考えていますので、そういう形で進めさせていただきます。
- ・ それから、シンポジウムもどういう形で開催するか、TPPをできるだけいろいろな方々に中身が伝わるような形で中身を考えていきたいと考えていますので、相談していきたいと考えています。
- ・ また、先ほど全国知事会の方で国に質問状を出していることを話しましたが、次回開催のための参考資料としまして、他県がどのようなことを聞きたいかも入っていますので、後ほどお配りしたいと思います。
- ・ また、道としても消費者が安価に外国からの食品を購入できるようになるのでTPPは良いことだと発言をなさる方もいらっしゃると思いますが、世界の人口が爆発的に増加している中で、一旦、食料が外国のものに置き換わった後で、それで、価格が高騰して、物が不足して対応する、食糧安保の観点からも、それから北海道は日本の食を支えているという自負もありますし、それから食産業立国ということで、工業に関しても食を中心にやっというように考えておりますので、その北海道として、今後、日本の食をどうするのかというその部分の説明が全くない中で、ひたすら手続きだけを進めていくということに関して、危機感を覚えているところです。
- ・ 次回の連絡会議もその点も含めてただしていきたくて考えておりますので、皆様方の問題意識について、是非とも次の連絡会議でお聞きいただいて、情報を共有していただければと思っております。

[北海道農業協同組合中央会の取り組みについて]

(北海道農業協同組合中央会 入江室長)

- ・ 私どものほうで取り組んでいる中身について2点ご紹介します。
- ・ 1つはこのメンバーとかなり重複しますが、TPP問題を考える道民会議を作ろうということで何度か会合を開かせていただいています。その趣旨は、これまでも集会やシンポジウムなどいろいろやってきたのですが、その都度ではなくて、常設的にこういう場を設けて情報共有をしていこうということです。
- ・ それぞれの分野に対する影響について、これまでも学習会をやってきましたし、今月の末にも小さな会場で学習会をやっ、それを映像にとって、DVDにして、地域または職場にもお配りしようと考えています。
- ・ 先ほどの1月16日の国の説明会の文書を読んで、これで理解できる方がどれだけいるのかと不思議な感じをしています。もう少しわかりやすく、それぞれの先生方をお願いして、30分ほどでお話をしていただいで、少しでも理解が深まるようにと進めているところです。

- ・ もう1点は全国段階の動きですが、(1月)14日から19日にかけて、JA全中の会長ほか、アメリカとカナダに出向いております。私どもの飛田会長も同行しています。
- ・ 2つの国の農業団体、政府などからの情報収集と、それから私どもまたは国会議員の先生方も365名の方が慎重にまたは反対という請願に署名をされていますので、そういった実態を両国関係者にお伝えする活動を展開しております。
- ・ 帰国後にJA全中とまた日本医師会の会長さん方と共同記者会見を予定しているということです、その辺の状況もまたお伝えできるかなと思っております。

(政策審議局 藪局長)

- ・ ありがとうございます。情報が入りましたら、是非とも私どもの方に教えていただければ皆様と情報共有していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
- ・ 他にご発言はございますでしょうか。

< 発言なし >

- ・ 今の件に関しまして、各団体の方で、理事会等で勉強会を開催するなどということがございましたら、資料は今回の連絡会議の資料が中心となるかもしれませんが、是非とも説明させていただきたいと思っておりますので、ご用命がありましたら私どもに連絡いただければと思っておりますので、よろしくお願いします。

【閉 会】

(政策審議局 藪局長)

- ・ 他にご発言等なければ以上を持って終了したいと思います。
- ・ 次回の開催に関しましては、国と打合せをした上でまたご連絡を申し上げます。
- ・ また、今後、国から情報が入った際には、皆様の方にご報告・ご連絡を差し上げたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
- ・ 今後の活動につきまして、必要に応じまして皆さんとご相談して対応を行なってきたいと思っておりますのでその際はよろしくお願いします。